

令和元年度 志免町多職種連携研修会

第1回 専門職間でのグループワーク

(在宅医療が難しい理由とは?)

第2回 専門職間での「もしバナゲーム」

第3回 専門職向け講演 「在宅医療の実践例について」

講師：むらおかホームクリニック院長 村岡 泰典氏

第4回 住民向け講演会



■講演会

テーマ：みんなで学ぶいのちの授業

～あなたを支えてくれる人はいますか?～

講師：神奈川県横浜市めぐみ在宅クリニック 院長 小澤 竹俊 氏

「住み慣れた地域で最後まで安心して過ごす」ために私たちに何ができるか、ということをご講演いただきました。先生の講演では、「子供から大人まで、健康な人も病気の人、誰でも悩みや苦しみがあり、その苦しみをわかってくれる人がいれば、穏やかに過ごせる」というお話があり、「わかってくれる（理解してくれる）人」になるためのコミュニケーション方法についてもお話いただきました。子供も大人も、地域住民、医療・介護の専門職も、みんなで苦しみを理解し支えあうことで、孤立する人がいないような町を目指すことができる、ということを強くお話しされており、参加されている方々も熱心に聞かれていました。



参加者のアンケートでは、

- ・「相手が私をわかってくれる人と思ってくれている」という言葉が印象に残った。他人の痛みや苦しみはわからない。実感できないから、想像できる人になりたい。
 - ・「理解者になる」ということの大切さを改めて感じる事ができました。
- などの好評をいただきました。